青　企　支　号　外
令和７年７月２日

報 道 機 関 各 位

青森県経済産業部地域企業支援課長
（　公　印　省　略　）

インバウンド向け青森土産開発支援事業「第１回商品開発会」のお知らせ

県では、今後の増加が見込まれるインバウンドの土産品購入需要に対応していくため、今年度、インバウンド向けの新商品開発や既存商品の改良・魅力向上に取り組む事業者を支援する「インバウンド向け青森土産開発支援事業」を実施しています。

この度、株式会社ビームスが運営する「BEAMS JAPAN（ビームス ジャパン）」のディレクターや県内の商品開発支援コーディネーターの助言を受けながら、県内事業者がインバウンド向け商品開発に取り組む商品開発会を開催しますので、取材方について御協力くださるようお願いします。

記

１　商品開発会内容

BEAMS JAPANのディレクター等が商品開発や情報発信の手法などを県内事業者に個別具体にアドバイスし、事業者とともに新商品または既存商品のブラッシュアップを行います。

※後日、開発した商品について、ビームス ジャパン（新宿）及びBEAMS公式オンラインショップにおいてテストマーケティングを行います。

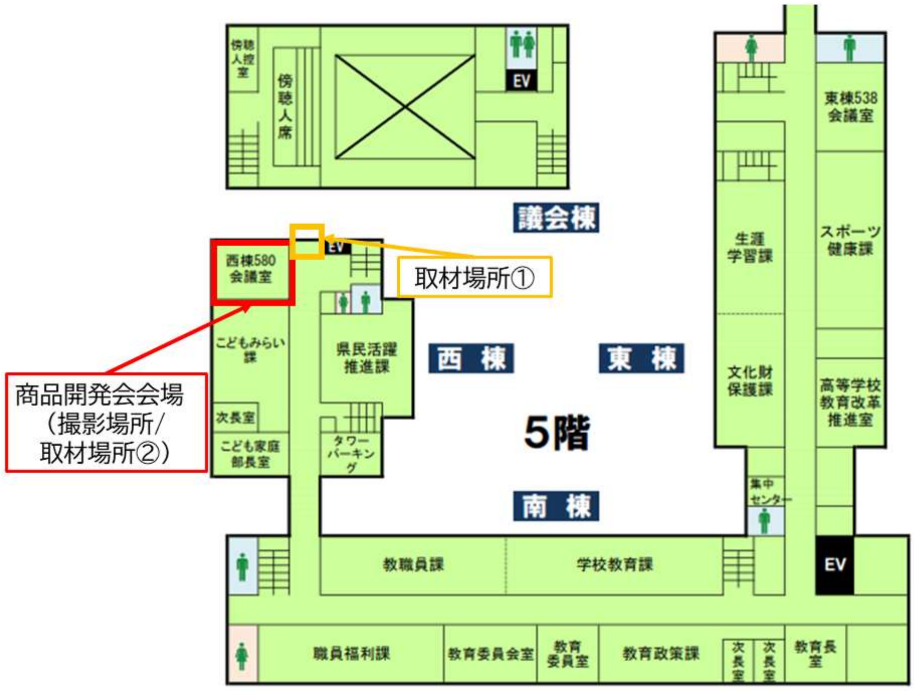
２　開催日時

令和７年７月８日（火）、９日（水）

※取材対応については、７月８日（火）の以下の時間・場所で受付します。

※商品開発会は、２日間にわたり開催しますが、取材対応は下記の時間のみとしますので、あらかじめ御了承ください。

時間	取材対応者等	場所	備考
14:15-14:25 (開始時冒頭10分間)	つづれや	西棟5階580会議室	撮影のみ
15:00-15:10 (商品開発会終了後)	つづれや	西棟5階 北側奥のスペース	取材 (取材場所①)
15:15-15:25 (開始時冒頭10分間)	appcycle（株）	西棟5階580会議室	撮影のみ
16:00-16:15 (商品開発会終了後)	appcycle（株） BEAMS JAPAN	西棟5階580会議室	取材 (取材場所②)



３　本事業に参加する事業者（五十音順）

（１）(株)アグリコミュニケーションズ津軽（五所川原市）
　　【県産りんごを活用した食品・飲料】
（２）appcycle(株)（弘前市）
　　【りんご残渣をアップサイクルした革製品】
（３）(有)セイビン社（黒石市）
　　【ねぷた組立キット】
（４）(株)高蔵ホーク（三沢市）
　　【県産にんにくを活用した食品、酵素入りクラフトコーラシロップ】
（５）つづれや（八戸市）
　　【南部菱刺し】
（６）(株)長谷川鉄工（平川市）
　　【鉄製品】

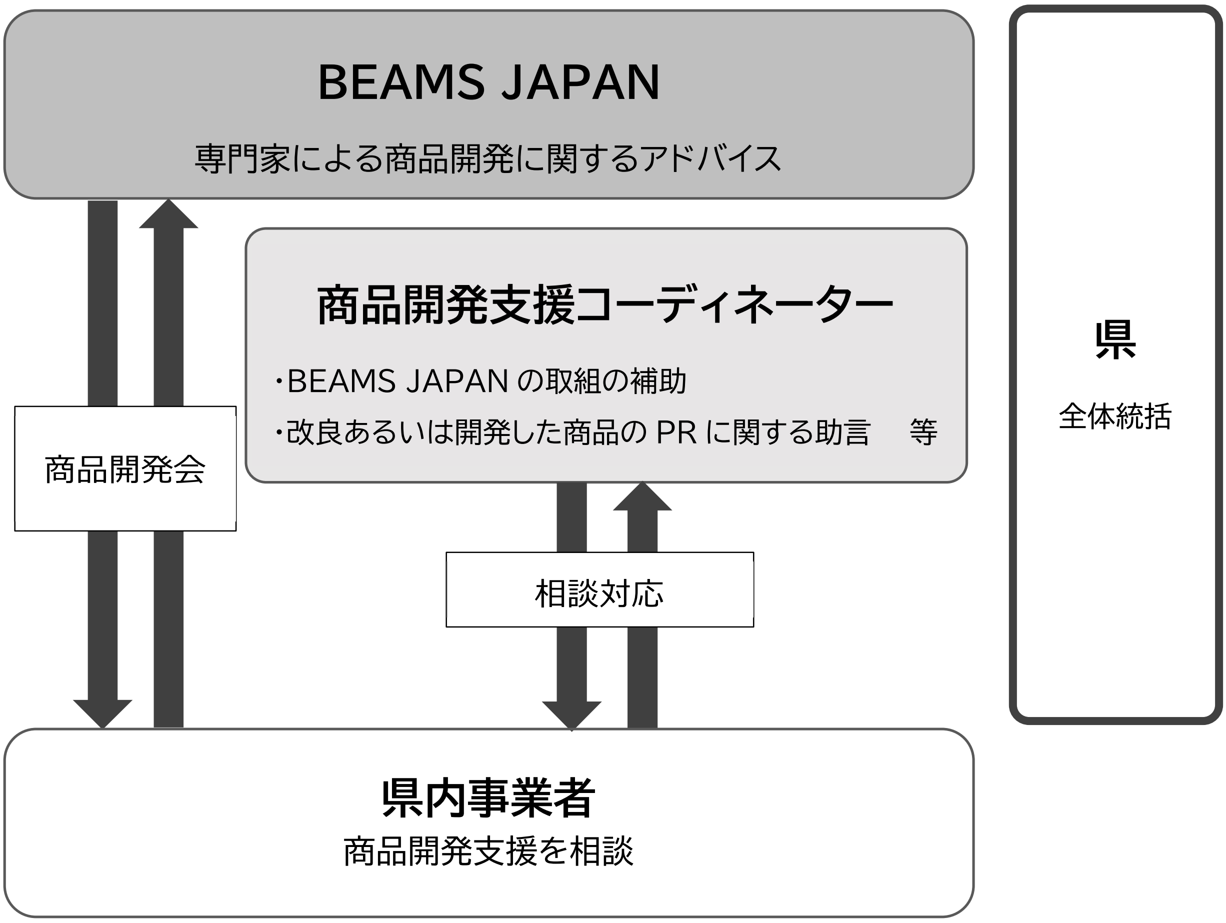
４　その他

詳細については、別添資料をご覧ください。

報道機関用提供資料	
担 当 課 担 当 者	経済産業部　地域企業支援課 マーケティング支援グループ ＧＭ　猪股　のり子、主査　越田　泰安
電話番号	直通：017-734-9375（内線3665）
報道監　経済産業部　次長　山口　郁彦（内線3601）	

令和7年度インバウンド向け青森土産開発支援事業について

県では、今後の増加が見込まれるインバウンドの土産品購入需要に対応していくため、今年度、インバウンド向けの新商品開発や既存商品の改良・魅力向上に取り組む事業者を支援するため、以下の体制により「インバウンド向け青森土産開発支援事業」を実施します。



※BEAMS JAPAN（ビームス ジャパン）
2016 年にスタートした、BEAMS が日本の良さや面白さを世界へ発信する事業。
日本の技術が光るプロダクト、伝統に裏付けされた各地の名品、モダンカルチャーやアートに加え、こだわりの日本ブランドやオリジナルウエアなどファッションアイテムも集積し、日本のモノやコトの魅力を国内外に発信しています。

本事業の参加者紹介

(1)アドバイザー

【BEAMS JAPAN（ビームス ジャパン)】

クリエイティブディレクター　鈴木　修司(すずき　しゅうじ）氏

（株）ビームス入社後、ショップスタッフを経て、”fennica（フェニカ）"のMD(マーチャンダイザー）、”B:MING by BEAMS"のバイヤーを担当。現在は、”BEAMS JAPAN"のクリエイティブディレクターに従事。

著書に『ビームス　ジャパン　銘品のススメ』、監修『小学生からの都道府県おでかけ図鑑』。

fennica ディレクター　菊地　優里(きくち　ゆうり）氏

「インターナショナルギャラリー　ビームス」に”fennica（フェニカ）"担当として配属後、店舗での販売員を経て、2017 年から”fennica（フェニカ）"の企画・バイヤー補佐を担当。2021 年より現職。洋服から器、家具に至るまで、様々なジャンルのものをミックスしたスタイルを提案。

【商品開発支援コーディネーター】 ※県内事業者

①株式会社小倉内装　代表取締役　小倉　勝茂　氏（伴走支援型支援担当）

R4-5 年度、県で、県内工芸品等地域資源を活用した県産品の販路拡大のため、販売モデルの構築を行う「あおもりくらふとサポーター」を委託。R6 年度は、県のインバウンド向け商品開発において、「商品開発支援コーディネーター」として、参加事業者の商品開発を支援。

インバウンド向けの商品開発プロデュース及び販売実績のほか、インバウンド客数の多い県内宿泊施設「星野リゾート　界津軽」の内装実績あり。

②門松デザインワークス　代表　松木　梓　氏（デザイン・PR支援型支援担当）

R5 年度、前者同様、県で「あおもりくらふとサポーター」を委託。R6 年度は、県のインバウンド向け商品開発において、「商品開発支援コーディネーター」として、開発商品のデザイン等を支援。

インバウンド向け商品のパッケージ等のデザイン、ロゴ制作のほか、インバウンド客数の多い施設における各種デザイン制作実績あり。

(2)参加事業者(五十音順)

①(株)アグリコミュニケーションズ津軽（五所川原市）　【県産りんごを活用した食品・飲料】

②appcycle(株)（弘前市）　【りんご残渣をアップサイクルした革製品】

③(有)セイビン社（黒石市）　【ねぷた組立キット】

④(株)高蔵ホーク（三沢市）　【県産にんにくを活用した食品、酵素入りクラフトコーラシロップ】

⑤つづれや（八戸市）　【南部菱刺し】

⑥(株)長谷川鉄工（平川市）【鉄製品】